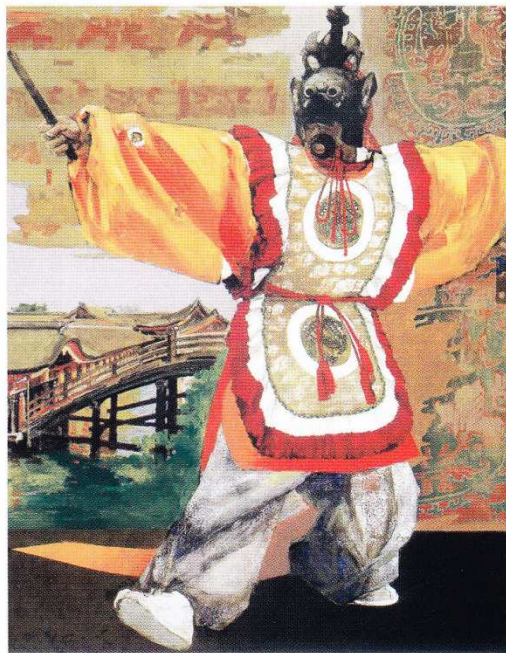


更生保護法人 広島県更生保護協会

会 報

『厳島舞楽』



日展会員
光風会理事
北 田 和 広・画

向暑のみぎり、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本年5月の理事会において、当協会の理事長という大役を拝命いたしました。当協会は、更生保護関係機関・団体より全国にあ

る更生保護協会のモデル的存在であるとの評価をいただいていると伺い、理事長の任をお引き受けするにあたり、身の引き締まる思いをいたしております。こうした評価をいただきておりますのも、会員の皆様のご協力をはじめ、保護司の皆様や、協力組織、民間ボランティアの皆様が、日々献身的に更生保護活動に取り組んで来られた賜であり、心から敬意を表します。

近年、人と人との関係が希薄な状態である、いわゆる無縁社会が問題となつています。人と人との関係を避け、人との接し方が判らないまま大人になり、壁にぶつかっても相談する相手もなく、極端に誤った行動を起こす例もみられるようです。

広島県更生保護協会 就任あいさつ



理事長 高 木 一 之

一方で、未曾有の災害を乗り越えようとしている東日本大震災の被災地の人々は、「絆」というキーワードのもと、多くの人々と関係を持つて復興を目指して活動されています。このような、人と人とを結び絆が、

次世代を担う青少年の健全な育成につながるとともに、犯罪や非行のない、誰もが安心して暮らせる社会を作るものと考えます。

当協会におきましても、「音楽の夕べ」や「絵画展」などの事業活動、あるいは広報活動を通じて、多くの方々に更生保護についてご理解いただき、ご支援いただけるよう努力していかなければなりません。その上で、関係機関・団体のご理解を得ながら、更生保護事業の充実を目指すとともに、当

協会の存在意義、存在価値を高めていきたいと考えております。

会員の皆様、ならびに関係者の皆様には、引き続きご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



力を集め、生かす

広島保護観察所長 寺戸 亮二

今年の四月から広島保護観察所長として勤務させていただいています。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

広島県更生保護協会の役職員の皆様、会員の皆様におかれましては、平素から更生保護に多大のご理解とご支援を賜り、また地域での啓発活動、更生保護施設や保護司活動への支援等を通じ、地域の大きなチカラを集めてきていただき、衷心より御礼申し上げます。

この三月の大震災で被災された方々や関係者の皆様に改めてお見舞い申し上げます。震災直後、被害の甚大さを前に被災地だけでなく私たち日本全体がともする自信を失いそうになっているとき、外国の高名な音楽家が急きよ来日し、「日本のすばらしい回復力を信じている」と力強く激励され、「そうだ。逆境には負けてはいけない」と、気持ち熱くなりました。力を落としている者にとつて「頑張つて」という言葉では「これ以上どう頑張ればよいのか」と当惑するものがありますが、そうではなく、負けないでという言葉にも通じるこのメッセージは、本当に有難いものがあります。

ところで、犯罪・非行をした人は、

概して、それまで家族や地域で期待されず、成功体験も乏しい人が少なくありません。そのようなケースでは、単に「頑張れ」と声をかけるだけではあまり意味をなさないかもしれません。しかし、そのような場合でも、就労して、雇主さんからちよつとした頑張りを激励され、良い点を褒められたりするうちに、好循環を生み、次第に自分でも誰かの役に立っているという意識が芽生え、やる気が向上していく例も少なくありません。これは、ある意味で彼らの居場所作りにも役立っており、ここでもまさに地域のチカラを頂くことにより、犯罪や非行のある人の更生へのチカラが高まるのです。

ところで、本年度、全国の保護観察所が取り組む施策として、従来の就労支援に加え、刑事施設出所者等で、住む場所の得られない者の再犯防止対策としての緊急的住居確保・自立支援の取組を進めているところです。これは究極の居場所作りによる再犯防止対策です。そのため、保護観察所では地域において関連する社会資源の開拓を進めていますので、今後とも良いお知恵等がありましたらご教示を賜りますようお願い申し上げます。

谷川和穂会長を 囲んだ意見交歓会

平成23年2月18日16時開催
ホテルセンチュリー21広島

本年も更生保護事業の効果的な事業を進めるための意見交換会を行った。冒頭谷川会長は、ネット社会における弊害で、機械をとおして情報を得ている世代の者に更生保護の理解を得られるだろうか。また、犯罪は家庭の崩壊が原因であることが大きい。と述べ、犯罪抑止のためには宗教的教育が重要であり、我々民間の立場から重要性を訴えていくことが大切であると話した。

中国地方更生保護委員会委員長の山田憲児氏は、一九九〇年以降は空白の二十年といわれ、デフレ・少子高齢化からも脱却できず、社会の基盤がもろく福祉政策が整っていないことも犯罪を発生させている要因であると説明し、続いて、このような社会の中、犯罪対策は国民全体で取り組み、社会の中で支援をして行こうという流れが生まれつつあることを紹介した。以後、

参加者はそれぞれの立場から更生保護に寄せる意見を出した。

(出席者)

谷川和穂会長

中国地方更生保護委員会

山田憲児委員長

広島保護観察所 西村公雅所長

企画調整課 山本登課長

深山英樹理事

福井大海副理事長・吉田愷忠常務理事・今井誠則・熊谷佳巳・

佐々木良子・高木一之・中尾建三・藤田宗広・竹内光弘・豊島

重文・林時男・松藤研介・谷尾

範子



篤志寄附者

平成22年4月1日～23年3月31日

(敬称略・単位円)

宇都宮 弘 子	100,000	NPO法人環境保全創生委員会 理事長 中原 健治	80,000	大 栄 電 業 (株) (会)貫名 賢	30,000
(社)広島県銀行協会 専務理事 早川 正彦	10,000	福 原 久 泰	25,000	北 田 和 廣	180,000
熊 谷 憲 二	10,000	松 浦 幽 峰	10,000	リ ョ ー ビ (株)	50,000
金本公認会計士事務所 所長 金本 善行	40,000	中 曾 義 孝	20,000	菱 光 産 業 (株) (会)吉田 愷忠	100,000
(株)農協プロパンセンター (代)只保 和幸	30,000	中 曾 マ リ コ	20,000	福山地区更生保護協会 理事長 開原 元也	80,000
広島県遊技業協同組合 理事長 池田 仁志	200,000	(株)東映ゴルフ倶楽部 (代)寺川 清	10,000	(株)ザ イ エ ン ス	50,000
永井幸治司法書士事務所 (代)永井 幸治	30,000	宗教法人 元浄寺	5,000	マ ッ ダ (株)	100,000
古 屋 由 利 子	30,000	近 藤 一 也	5,000	(株)中 電 工	100,000
ウエノヤビル(株) (代)上野谷吉禮	30,000	広 島 ガ ス (株)	100,000	井 町 重 遠	30,000
山 陽 乳 業 (株) (代)木原 正勝	30,000	(株)フ ジ タ	50,000	吉 川 哲 也	30,000
佐々木 良 子	80,000	(株)中 国 新 聞 社	100,000	(株)ニ イ テ ッ ク (代)仁井 慎	30,000
広 島 電 鉄 (株) (会)大田 哲哉	100,000	広 島 電 鉄 (株)	100,000	赤澤税理士事務所 (代)赤澤 満	30,000
(医)せ の が わ 理事長 津久江一郎	80,000	中 国 電 力 (株)	100,000	和久野 絹 代	10,000
(株)シ ン コ ー (代)筒井 幹治	100,000	(株)広 島 銀 行	100,000	加 治 順 子	5,000
(株)瀬戸内観光ホテル (代)前 京子	20,000	(株)も み じ 銀 行	50,000	石 田 清 寛	50,000
(社)呉交通安全センター 理事長 下竹 勇夫	150,000	(株)む さ し (代)浮田 収	30,000	山 田 芳 郎	200,000
田 中 電 機 工 業 (株) (代)田中 秀和	30,000	畠 山 昭 雄	30,000	宇 根 康 則	50,000
赤羽公認会計士事務所 所長 赤羽 克秀	30,000	今 田 忠 男	30,000	広 島 信 用 金 庫 理事長 坪井 宏	100,000
(株)シ ン ギ (代)田中 幸夫	80,000	こじま矯正歯科医院 小島 敏嗣	30,000	(株)三 宅 本 店 (代)三宅 清嗣	30,000
安芸教区仏教婦人会連盟 委員長 山本 ゆり	500,000	福 井 大 海	100,000	土 居 徹 吉	30,000
広 島 駅 弁 当 (株) (代)中島 和雄	80,000	森 脇 宗 彦	30,000	オタフクソース(株) (代)佐々木茂喜	30,000
藤 田 宗 広	80,000	(有)森 本 製 作 所 (代)森本 慶治	30,000	山 下 哲 夫	30,000
熊 谷 佳 巳	70,000	(財)多 山 報 恩 会 理事長 増井 清	900,000	小 松 教 清	30,000
府 中 茶 舗 (代)林 時男	30,000	竹 内 光 弘	30,000	岡 崎 和 香 子	30,000
広 島 ガ ス (株) (会)深山 英樹	100,000	高 橋 雅 彦	200,000	山 口 信 恵	30,000
		安部税理士事務所 所長 安部 憲明	80,000	佐 藤 忠 彦	30,000
		(株)山 貴 (代)真木 徳美	30,000	松 藤 研 介	30,000
		(株)中 尾 鉄 工 所 (代)中尾 建三	80,000	高 都 持 徹 雄	30,000
		古 元 京 子	30,000	(社福)広島県共同募金会	600,000
		東 洋 観 光 (株) (代)今井 誠則	80,000	更生保護「チャリティー 音楽の夕べ」	2,108,000



(広島地方検察庁) (深山理事長) (谷川会長)
河合総務部長

本年二月二十四日午後六時セ
ンチュリーホテル21広島におい
て開催。
開会に先立ち谷川和穂会長が
挨拶をした。続いて、広島地方
検察庁総務部長河合文江氏が来
賓を代表して祝辞を述べた。広

第12回更生保護 『チャリティー音楽のタベ』 春の ハーモニー



(伊藤 優)

(佐田大陸)

演奏会は
予定時間に
終了したが、
来場者の余
韻は覚めや
らぬ様子で
ロビーなど
に佇んでい
たのが印象
的であった。

曲目は「愛
の挨拶・カ
ルメン幻想
曲」等。
演奏会は
好評であつた。
曲目は「愛
の挨拶・カ
ルメン幻想
曲」等。

中에서도客席を回ったバイオリン
の演奏は好
評であつた。
曲目は「愛
の挨拶・カ
ルメン幻想
曲」等。
演奏会は
好評であつた。
曲目は「愛
の挨拶・カ
ルメン幻想
曲」等。

島市在住のシャンソ
ン歌手占八瑛子氏は、
数々の実績に裏打ち
された実力で大人の
哀愁を会場に一杯に
繰り広げた。優雅な
ドレス姿やかんかん帽子の軽快
な服装も観客を楽しませた。曲
目はサン・トワ・マミー、青春
の道・ラストダンスは私に等。
会場からは広島県の越路吹雪だと



(占八瑛子)

いう声も聞こ
えた。続いて
占八氏と
「PUKEMEN」
メンバーであ
る SUGURU



更生保護懇談会の開催

平成二十二年十月二十
五日、篤志家や当会役員
など退任者・新任者を招
いて懇談会をおこなった。
広島保護観察長西村公雅
氏は篤志寄附者に大臣感
謝状・中国地方委員会委
員長感謝状・広島保護観
察所長感謝状を伝達・授
与した。続いて、深山理
事長は同会への貢献者に
感謝状を贈呈した。また
「佐伯地区青少年を育てる
会」会長の熊谷佳巴会長
は同会の事業の紹介をした。

でも、胸の奥に



広島県更生保護協会副理事長
福井大海・画(日本水彩画会会員)



北田和広画伯によるヨーロッパ並びに広島近郊風景画約三十点近くの絵画を広島県更生保護協会事業所にて展示。初日午後二時三十分から幕開けをし、広島地方検察庁検事正の五十嵐義治氏が祝辞を述べた。続いて広島保護観察所長西村公雅氏が乾杯の発声をした。

期間中、地元の新報に掲載された記事と口コミまた、北田画伯の絵画の愛好者やリピーター等一〇〇名を超える多くの人が来場し、鑑賞した。

第9回更生保護

[チャリティー ミニ絵画展]

平成22年11月24日～12月9日



出席団体
(更)中国地方更生保護協会・広島県保護司会連合会・(更)ウイズ広島・(更)呉清明園・広島県更生保護女性連盟・広島県BBS連盟・広島県協力雇用主会連絡協議会・広島県保護司OB会・食べて語ろう会／中学生勉強会・海老山で遊ぶ会・広島県更生保護協会等。



更生保護関係団体との 懇談会の開催

平成二十二年十一月二十四日十三時から広島保護観察所長西村公雅氏の列席のもと、更生保護関係団体懇談会を開催した。各団体から活動状況など報告があり、意見交換も活発に行われた。席上、深山理事長は、各団体に本年度助成金を贈呈した。

絵画寄託のお知らせ

この度、庁舎移転に伴い、高等検察庁に貸与されていた日本画『山水』世良正画（100号）が返却されました。ついでに寄託先の公募を致します。詳細は当会事務局までお問合せ下さい。



ウエノヤビルの看板に注目！



この度、ウエノヤビル(代)上野谷吉禮氏のご好意により、ビルの壁面に当会の看板がかけられた。電車通りから見上げれば、更生保護法人広島県更生保護協会の文字が、道行く人に呼びかけている。

平成22年度収支計算および平成23年度収支予算

1 収入の部

(単位 円)

項 目	22年度決算	23年度予算	項 目	22年度決算	23年度予算
補助金収入	1,502,000	1,800,000	財産収入	591,747	700,000
寄附金収入	8,803,000	10,300,000	利息及び配当金収入	591,747	700,000
篤志者寄附金	160,000	200,000	会費収入	4,085,000	4,200,000
共同募金配分金	600,000	600,000	会費収入	4,085,000	4,200,000
役員等寄附金	7,743,000	9,000,000			
その他の寄附金	300,000	500,000	収入合計	14,981,747	17,000,000

2 支出の部

項 目	22年度決算	23年度予算	項 目	22年度決算	23年度予算
一時保護事業	1,782,192	1,900,000	調査研究費	25,000	25,000
事務費	150,000	150,000	その他	0	380,000
給料手当	150,000	150,000	顕彰式	180,000	180,000
金品給与費	1,632,192	1,750,000	助成費	4,490,000	4,620,000
金品給与費	1,632,192	1,750,000	継続保護事業	1,300,000	1,300,000
連絡助成事業費	11,250,996	11,210,000	一時保護事業	100,000	100,000
事務費	3,500,267	3,435,000	保護司活動	1,682,500	1,650,000
給料手当	1,850,000	1,850,000	更生保護女性会	557,500	550,000
雑給与	778,175	700,000	B B S 活動	400,000	400,000
福利厚生費	401,853	350,000	その他	450,000	620,000
旅費交通費	117,833	130,000	管理費	3,768,682	3,217,000
通信運搬費	183,895	270,000	給料手当	500,000	500,000
消耗品費	31,866	28,000	退職手当	264,000	276,000
備品補修費			会議費	315,950	300,000
減価償却費			交際費	31,714	100,000
印刷製本費	60,020	60,000	旅費交通費	150,516	250,000
雑費	76,625	47,000	通信運搬費	161,657	50,000
啓発費	2,068,221	1,520,000	消耗品費	0	20,000
啓発費	2,068,221	1,520,000	印刷製本費	58,371	50,000
連絡調整費	1,192,508	1,635,000	備品補修費	210,000	0
継続保護事業	10,000	10,000	賃貸料	892,605	892,000
一時保護事業	0	10,000	水道・光熱費	167,328	140,000
連絡助成事業	10,000	30,000	雑費	1,016,541	639,000
保護司活動	305,348	400,000	積立金	0	0
更生保護女性会	100,000	100,000	積立金	0	0
B B S 活動	100,000	100,000	予備費	0	673,000
協力雇用主会	50,000	50,000	予備費	0	673,000
機関紙発行費	274,130	250,000			
大会費	0	0			
報償費	138,030	100,000	支出合計	16,801,870	17,000,000

平成22年度 事業成績

更生保護事業

(1) 一時保護事業

(単位 円)

項 目	助 成 理 由	金 額
一時保護事業	金品給与費 161件	432,192
	就労支援費 40件	1,200,000
合 計		1,632,192

(2) 連絡助成事業

ア 更生保護法人等に対する助成などに関する事項

更生保護の名称	助成内容	金 額
(関)ウィズ広島・呉清明園	施設運営費等	1,300,000
(関)ウィズ広島・呉清明園	一時保護事業等	100,000
合 計		1,400,000

イ その他の事項

1 助 成 先	助 成 内 容	助 成 金 額
保 護 司 活 動	事業活動費等	1,682,500
更生保護女性会	事業活動費等	557,500
広島県BBS連盟	事業活動費等	400,000
その他の助成	事業活動費 (福山協会他更生保護協力事業等)	450,000
合 計		3,090,000

2 項 目	内 容	金 額
継続保護事業連絡調整費	協議会等	10,000
連絡助成事業連絡調整費	協議会等	10,000
保護司活動連絡調整費	研修会等	305,348
更生保護女性会活動連絡調整費	研修会等	100,000
BBS活動連絡調整費	研修会等	100,000
広島県協力雇用主会	協議会等	50,000
合 計		575,348

(3) その他連絡助成以外の事業

項 目	内 容	金 額
機関紙「会報」発行	第21号発行	274,130
啓 発 活 動	第60回社明運動助成・企業啓発・第12回更生保護チャリティー音楽の夕べ開催経費等	2,068,221
調 査 研 究	更生保護の概況印刷費	25,000
広島県更生保護功労者顕彰式典	開催経費等	180,000
報 償 事 項	感謝状記念品・伝達・筆耕等	138,030
合 計		2,685,381

平成23年度の主な事業

1 運営に関する事項

県内に於ける更生保護活動を広く社会に知らしめ、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、更生保護を支えている民間ボランティア、施設団体等に対する連絡助成事業及び一時保護事業を行うと共に、ご援助を頂ける多くの寄附者並びに会員を募集し、以って更生保護事業の充実発展に寄与する。

2 事業に関する事項

*一時保護事業

① 更生保護事業法第二条二項各号に掲げる者に対する一時保護事業を行い、特に法により援助保護の出来ない者に金品を給与、また、刑務所出所者等に対し就労支援を行い自立更生の援助する。

*連絡助成事業

① 更生保護施設に対する連絡・調整または助成
② 保護司活動に対する連絡・調整または助成
③ 更生保護を支える民間の協力団体に対する連絡・調整または助成

(更生保護女性会・BBS会・県協力雇用主会連絡協議会・その他更生保護に寄与する団体)

④ 犯罪予防を図るための世論啓発その他の活動を行う
・第六十一回「社会を明るくする運動」に対する協力・援助
・第十三回更生保護「チャリティー音楽の夕べ」を開催
・第十回更生保護「チャリティーミニ絵画展」を開催
⑤ 関係機関・団体との連絡協議を図る

*その他の事業

① 広島県更生保護功労者顕彰式に参加・協力・援助
② 中国地方更生保護協会に対する協力・援助
③ 機関紙「会報」第二十二号を発行
④ その他協会の事業目的達成に必要と認められる事業の実施

開催のお知らせ(予定)

・第十回更生保護「チャリティーミニ絵画展」
平成二十三年十一月中旬
・第十三回更生保護「チャリティー音楽の夕べ」
平成二十四年二月下旬

広島県更生保護協会理事・監事・評議員・職員

平成23年6月現在
50音順・敬称略

役名	氏名	職業等	役名	氏名	職業等
会長	谷川和穂	元法務大臣・全保連会長	評議員	浮田収	(株)むさし代表取締役
理事長	高木一之	広島信用金庫会長・広島経済同友会代表幹事	評議員	岡崎和香子	家庭裁判所調停委員・行政相談員
副理事長	大田哲哉	広島電鉄(株)代表取締役会長	評議員	吉川哲也	地区保護司会長
副理事長	林正夫	県議会議長・保護司	評議員	木原正勝	山陽乳業(株)代表取締役社長
副理事長	福井大海	弁護士・元最高検察庁検事	評議員	小島敏嗣	こじま矯正歯科医師
副理事長 常務理事	吉田愷忠	菱光産業(株)取締役会長	評議員	小松教清	地区保護司会長
理事	池田仁志	広島県遊技業協同組合理事長	評議員	佐々木茂喜	オタフクソース(株)代表取締役社長
理事	今井誠則	東洋観光グループ代表	評議員	佐藤忠彦	地区保護司会長
理事	開原元也	福山地区更生保護協会理事長	評議員	新原靖	(株)AFYS 沼田自動車学校代表取締役社長・保護司
理事	北田和廣	画家	評議員	高都持徹雄	地区保護司会副会長
理事	木村正文	アイレストホーム(株)顧問	評議員	竹内光弘	元県警本部青少年育成課長
理事	熊谷佳巳	行政相談員・保護司	評議員	田中秀和	田中電機工業(株)取締役社長
理事	黒瀬真一郎	(学)広島女学院理事長	評議員	土井哲男	地区保護司会長
理事	佐々木良子	佐々木外科・更女会	評議員	豊島重文	元代議士秘書
理事	田中幸夫	(株)シンギ代表取締役	評議員	永井幸治	司法書士
理事	津久江一郎	(医)せのがわ理事長・保護司	評議員	畠山昭雄	地区保護司会副会長
理事	筒井数三	(株)シンコー取締役会長	評議員	林時男	府中茶舗代表・保護司
理事	中尾建三	(株)中尾鉄工所代表取締役・保護司	評議員	平石廣司	広島信用金庫保安対策本部長・前県警本部
理事	中島和雄	広島駅弁当(株)代表取締役社長	評議員	貫名賢	大栄電業(株)会長
理事	中原好治	県議会議員・保護司	評議員	堀江淳	(株)クリエイト建築設計代表
理事	藤田宗広	会社役員・保護司・カウンセラー	評議員	前京子	(株)せとうち観光ホテル社長・保護司
理事	松村秀雄	中国電力株式会社執行役員コンプライアンス推進部門総務部長	評議員	真木徳美	(株)山貴代表
理事	森本慶治	(有)森本製作所取締役社長・保護司	評議員	松藤研介	広島ガス(株)執行役員 家庭用エネルギー営業部長
監事	金本善行	金本公認会計士事務所所長	評議員	森功	地区保護司会長
監事	早川正彦	(社)広島県銀行協会専務理事	評議員	森脇宗彦	住吉神社宮司・保護司
評議員	赤澤満	赤澤税理士事務所代表	評議員	三宅清嗣	(株)三宅本店代表取締役社長
評議員	赤羽克秀	赤羽公認会計士事務所所長・保護司	評議員	山口信恵	人権擁護委員・家裁調停委員・保護司
評議員	今田忠男	地区保護司会長	評議員	山下哲夫	弁護士
評議員	井町重遠	地区保護司会長	評議員	和久野絹代	東広島地区会長
評議員	上野谷吉禮	ウエノヤビル(株)代表取締役			
			職員	谷尾範子	事務局長・保護司
			職員	蛇迫紀恵	事務局員



右から5番目 深山英樹 右から4番目 高下一之 (H23.5.31)

みんな一緒に
生きていく。赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

巻頭画 (北田和広・画)

“厳島舞楽”

舞楽シリーズは今回で5回目である。
鮮やかな衣装を纏い舞う武将の姿は、
荘厳な空気を伝える。

あとがき

深山英樹理事長は経済界の重鎮として数々の要職に就かれる中、昨年12月広島商工会議所会頭に就任。止む無く当会理事長を辞任された。同理事長は多忙の中にあっても、理事・評議員等の増強・会員・篤志家の発掘・効率的な運営へ向けた改善など数々の課題に取り組んでこられた。その姿勢に我々は当会の使命を喚起されていた。その矢先の辞任であった。会報の編集を進めていると、随所に深山氏の写真が目に入り感謝の念がこみ上げてくる。

代々の理事長もそうであるが、包容・寛容力を備えた力強いリーダーのもと、当会は進んでいる。本年3月東日本に大震災が発生した。不幸のどん底にありながらも人間としての品格を失わず、互助精神を発揮している姿に世界は感動したとあった。

こうしたなか平成23年6月7日、高木一之氏という素晴らしい理事長が誕生した。新理事長のもと、潜在能力として日本人が持つ他者を思いやる気持ちを大いに覚醒させ、次23号の会報で紹介したい。(谷尾)

更生保護法人
広島県更生保護協会
会報 第22号

〈編集発行〉

更生保護法人
広島県更生保護協会
〒730-0012
広島市中区上八丁堀3番6号
TEL (082) 221-4585
FAX (082) 221-4592
Eメール hogo@d9.dion.ne.jp